

〔専門医による講話〕

- 1 テーマ 思春期の心とからだ おとなになっていくために
- 2 対象 町内小学校5、6年生
- 3 専門医 丸山 真弓 医師
(県立中央病院)
- 4 実施月 12月
- 5 内容(キーワード)
思春期の心とからだ
妊娠の仕組みと出産、性的少数者
SNS、信頼できる大人への相談



評価(あてはまるものに○をつけ、理由を記入)

①健康課題の解決について

有効だった
有効でなかった
＜その理由＞

- *次世代へ命をつなぐための働きが体に起こり始めていることとその現象、生命誕生について学んだ。
- *SNSを通じた被害やプライベートパーツに関連して、心配や悩みがある時には、相談できるところがあることを教わった。
- *いろいろな少数派の人に優しいシステムが、大多数の人にも優しい。みんなが楽しく優しく暮らせる社会を作っていくことが必要だと教わった。

②校内の組織づくりについて

有効だった
有効でなかった
＜その理由＞

- *5年後、町内に一つの義務教育学校が新設されることもあり、3校合同で同じ講演をお聞きすることができたことは、今後の指導に生かされる。

〔教科やその他の指導との関連性〕

保健体育4年、理科5年、学活(ネットトラブル関係、友達との付き合い方)

③校外の関係機関等との連携について(派遣専門医を含む)

有効だった
有効でなかった
＜その理由＞

- *専門の先生からたくさんの分かりやすい資料を準備していただいたことで、児童がひきつけられた。心身の成長のほか、現代的課題になっているSNSを通じた被害やLGBT、子宮頸癌ワクチンについても、丁寧に教えていただいた。専門医の立場から伝えたい内容を加えてくださった。

〔受講者の感想など〕

- 体に異変を感じたら、大人などに相談して、ため込まないようにしたい。
- 知らなかった妊娠の仕組みや出産についての動画を見たり、人形の赤ちゃんを抱いてみたりして、おなかの中に赤ちゃんがいる時は重くて大変だなと思った。自分の心と体を大事にして、教わったことを覚えておきたいと思った。
- 初めて知ったことや、知っていてもくわしくは知らないところがあったので、とてもいい勉強になった。

